

平成20年度水道モニターレポート

No. 4

(研修会・意見交換会 2/9)

平成21年5月7日

モニターに参加して水道局の概略が理解できた。今までは広報紙「水先案内」を見ながら何となく水道料金のみを気にしていたが、水道は大掛かりな設備を必要とする装置産業であることを実感した。

まず、水道局が独立採算制であるとは知らなかった。ほとんどが地中配管につき日常の維持管理が基本である事。当然、経年変化による劣化等があり管理の大変さが良く分かり参考になった。

独立採算制ながらライフラインの一角であれば、赤字になっても値上げが簡単に出来ないジレンマがあると思う。

設備の老朽化による更新計画、技術革新に対する対応、災害時の対応などで大変な事だと思う。

広域市町村合併による設備の見直し等による支出増もあると思う。今後とも美味しい水の供給に努力をお願いしたい。

さて、供給単価が全国主要30都市で28番目との事で供給単価の低減に努力されていることに感謝する。

新潟県は日本を代表する信濃川、阿賀野川があり自然環境に恵まれていることも事実だが、近年の環境汚染に対応する水処理技術も変化していくこともあるだろう。上流の汚染が進めば取水後の浄化処理にも手間が掛かることになり、上流での排水処理への関心も必要だと思う。

信濃川上流である長野県の排水基準は新潟県より厳しく、浄化槽の設置に費用がかかるとの事です。

下水道処理関連のモニター制度を実施しては如何か。上流域で使用した農薬等の処理に活性炭処理を実施して安心してはいるが、分析の難しい環境ホルモンの分析に挑戦してはいかがか。

中国大陸で放出している汚染物質が大気中で化学変化し悪質環境ホルモンとなり、雨水に溶けこんでいるのではないかと思う。

近年の晩婚化傾向は環境ホルモンの影響であるとも言われている。

海岸線道路を車で走ると松の木が枯れているのが多く見られる。松食虫によるものと酸性雨の影響である。

酸性雨の原因は塩素、硫黄、窒素イオンの含有量が以前より多くなっている様だ。環境ホルモンの分析は大変難しく、分析方法が確立していないと聞いている。

技術力を誇る日本ですので分析方法を確立し発表しては如何か。

「百聞は一見にしかず」の通り各施設を見学し大変参考になった。

見学会終了後質疑応答時間が設けられていたが、時間不足ではなかったかと思う。

モニターより低次元の質問もあったと思いますが、一般消費者は水資源とは蛇口をひねれば水が出ると思っているのが現状である。モニター間同士での懇談する場を設けても面白いのでは。

日本海タワーを見学して身近な所に配水場が設置されていることを再認識した。水道料金の概要、災害時の応急対策、水道事業の財政のしくみ等を説明してもらい、水道に対しての理解が深まった。

今後も安全な水の供給、災害時の対策並びに行政改革の実施に努めて頂くことを期待致している。

日本海タワーのモデルが男鹿半島にある寒風山回転展望台であることに驚いた。コーヒーを飲みながら1周25分、周りの景色をながめながら過ごすのもレトロでいいなあとと思った。

モニターになって水道の歴史、安全でおいしい水を作るための努力、災害に備えての努力など、見学や講義によって学んだ。一番の驚きは取水口が川下にあった事実である。それゆえに、濁った水をきれいにしなければならない努力、安全かどうかのチェック等大変な仕事だと思った。私達は当然のように安全できれいな水を要求ばかりしているが、私達に水道局から必ず守ってもらいたいことは何なのかを教えてください。私達の家庭排水が信濃川や阿賀野川にどのように入りこんでいるのかわからないので、そういう点が知りたい。

災害への備えとして、一人1日3リットルの水が必要であり、生活水の確保には浴槽の水をため置きする事を守ろうと思っている。

今回、日本海タワーの見学で新潟を360°回転しながら見物出来る事を知り、新潟にもこの様な所があるのかと思った。でも、見物客がほとんどいないのは寂しい思いだ。なにかもう少し工夫して、活気ある場所になってほしいと思う。

今回の災害に備えて（私も昔はほとんどしていませんでしたが）新潟は地震が多く、その時に水のない生活は一日も出来ないと思う。水の大切さ、そして水道局のみなさんが色々と考えてくれていることを、今回の勉強会で知った。

モニターに参加出来る事は、色々な人達の働きがあり、生活が守られている事を、言葉でなく身で感じる良い機会が出来た事を感謝し、私の身近な人達に話したいと思う。

今年度、このモニターに参加できたことで我々の生活に最も身近な水について大変興味を持てた。更に様々な水についての知識を学べ、生活スキルが上がった。

まず料金について。一般市民として最も気になる所だが、新潟市は全国的に見ても水道料金が低価格であること！個人で全国市町村の水道料金を知ることは一筋縄ではいかない。実際に数字を見て、説明を受け、とても納得出来た。

次に、災害時の水道の供給について。これもまた一般市民には気になるところだ。最近では青森で大規模な断水が発生した事を例に挙げ、この様な事態でも影響を少なくできるような配水管の仕組みと知っていることを知りました。

大河が2本もあっても、そのような所がおろそかであれば、水源が乏しい場所と同じ事ですから！！水に恵まれている新潟市は水道設備にも恵まれているのですね。

水太郎クンGOOD ' S のゆるキャラアピール路線にも期待！！

今回最後のモニター研修会では特に災害に強い水道を目標に整備をされている事がとても良く分かった。配水ブロック化や地震に強い水道管継手に替えている事などなど、今後は今回勉強した事を忘れず暮らしていきたいし、水道事業の内容を他人に聞かれたら、知っている限り話して行きたい。

温泉旅館やホテルで温泉源泉掛け流しでやっている風呂の下水道使用料はどうなっているのでしょうか。

主要30都市で水道水供給単価が下から3番目の28番目や政令都市で下から2番目とは驚きだ。これも大河信濃川、阿賀野川のお陰である。それに新潟市水道局の努力だろう。そのように思いながら水道水を使用していく。

～水道事業全般に対する意見、提言～

○ 水道モニターになり、様々なことを学んだなかで一番驚いたのは「独立採算制」ということです。

これまでは「水は限りある資源」と考え、また折からのエコブームもあり「節水」を心がけてきたが、節水しすぎれば水道料金が上がるかもしれないと知り、節水をした方がいいのか、しない方がいいのか迷っている。

電力会社が節電を呼びかけるのと同じであまりに水を使いすぎるとより大きな設備が必要になったり、それこそ水が足りなくなったりということから「水道局が節水を呼びかける」ことも理解した。

ただちょっと分かりにくい。そのあたりの説明も含めて「独立採算」ということをもっと前面に出したほうがいいのでは？と思った。そうすれば、水道の水を飲む人がもっと増えるかもしれない。

そして、今回の意見交換会でモニターの方がおっしゃったように、「新潟市水道局の技術をもって打って出る」ことが、収入増への解決策なのかなとも思った。雲をつかむような話ですが、水道料金が上がるより、よほど市民には喜ばれると思う。

市民にアイデアをつのり、別会社を立ち上げてそこからの収入で補填できるようにしたらどうだろうか、などと思った。

本当に雲をつかむような話だが、どこか他の自治体が挑戦するかもしれない。

そして思ったのが、日本海タワーをもっと活用し財源にしたらどうか。。

今回の研修で初めて行ったが、楽しい所ですね。

施設の古さも逆に暖かみを感じた。

あそこでコンサートをしたり、お茶会をしたり、あるいは花火のときに解放

したり、水道水を使って珈琲をいれる講習会をしたり、水の飲み比べをしたり・・・いかがか？ホームページを見ると、ギャラリーなどをされていることが分かったが、もっと活用されたらと思った。

ただ、水道局は水道以外で利益をあげてはいけないとしたら、的外れですみません。また、すでになさっていたら、すみません。

新潟の方にとっては、見慣れたタワーでも私のような転勤族には新鮮だった。

今ではあまり訪れる人もいないというのが、もったいなくて仕方がない。

○ 今回のモニター応募の理由のひとつが、「水道水は安全なのか知りたい」というものだった。

これについては、第2回の見学会で「残留塩素は水道の水をコップにいれた時点でコップの汚れと反応して中和するし、口に含んだ時点で口の汚れと反応して中和するので心配ない」とご説明いただき、安心していた。

しかし「質問への回答」を読むと「トリハロメタン」という心配もあるのだと知った。

水道水をそのまま飲んでも大丈夫なのか？その「トリハロメタン」は含まれているのか？あるいは、他の危険な成分はどうか？

安全なのであれば「水道水は安全です」と「水先案内」などで、周知すれば、私のように浄水器メーカーに惑わされる人も少なくなり、安心して飲めるのではないかと思った。

「朝一番の水はバケツ一杯程度汲み、掃除などに使う」と書いてあるのでそれも「水道水は安全ではない」と不安になった理由のひとつである。

書いてあることの意味は分かりますが、水道局の冊子に書いてあると、よほど危険なのかなどと考える。

研修会で聞いたところ、朝一番にトイレで一回流せば大丈夫ということですので、そういうことも併記されたらどうかと思った。まあ、トイレの位置などもあり、ややこしいことは分かりますが・・・「水道の水を安心してごくごく飲む」ような広報をなさったら、水の使用量も増えるのではないかと思う。

私の友人などでも、炊事用にペットボトルの水を買い置きしてある人が多くなっている。彼女たちは皆「面倒だけど、安心には変えられない」という。もちろん、味の問題もありますが、水道水が安全と分かればそのあたりの意識も変わるのではないか？

○ 今回モニターに参加して、本当に様々なことを学んだ。

水道の水は川の水だということが、しっかりと分かり、排水にこれまで以上に気をつけるようになった。

浄水器会社の宣伝に振り回されてきたが、一步、踏みとどまることができ、また水道水の安全性についてむやみに心配をしなくなった。

暮らしの中で、生きて行く上でなくてはならないものが水、水道ですので、

これからも水道に関心をもっていきたい。また学んだことは友人や近所の方などに積極的に伝えて行きたいと思う。

南山配水場・日本海タワーの見学

小高い丘の中頃当りに建設され、最上階は回転式360°パノラマで一望できる。穏やかな午後の日本海と少し遠くに佐渡が島が見える。反対向きになると、新潟の中心部の町並が一望でき、ビルの建物が多く見えた。このタワーは傾斜を利用した配水となっていること、各家庭で水を利用すると速補給（タンクに）する仕組みになっていると説明があった。水源は信濃川である。

各家庭で、朝起きて洗面、食事、夕方帰って入浴、食事等々、限られた時間での消費量は大きいと思う。上手に調節され途切れる事なく使えて頼もしいと思った。研修会では施設、料金、設備、等々各担当者より説明があった。

街の歴史と共に、安心して暮らせる更なる発展を望む。

今回で4回すべてのモニター研修会が終わった。当初は全日程に参加できるとは思っていなかったのであるが、奇跡的に全て参加ができ大変うれしく思っている。今回に限ったことではないが、見学や聴講の時間が思いの外延び延びとなってしまう、質疑の時間が押せ押せの感が強く残った。もう少し質疑応答の時間があってもしかりかと痛感した。

個人的には新潟に18年住んでいるが、日本海タワーが水道局の施設であることはもちろん、日本海を眺望できるとてもいい公的な施設であることも初めて知った。新潟生まれの家内に聞くと、新潟県民であれば小学生くらいに見学に行くコースだということも知った。人口流入の多い現代であればこそそういった情報の周知は尚のこと重要であるなあ〜としみじみ感じた。トイレが無いのは如何ともしがたいが、眺望もよく、県外来訪者には一度は連れて行きたい施設かと感じた。

最後の水道料金の説明については、はっきり言ってよくわからない部分が多かったようにも思うが、新潟市が大変努力して低料金で良品質の水道水を供給していることはよく理解できた。モニターを通じ縁の下のカ仕事というイメージは尚のこと強くしたがそうだからこそモニター後のよき理解者として広報に努めたいとさらに思った。

久しぶりに日本海タワーを見学した。子供達がまだ小さかった頃に行ったことがあったが、日本海タワーが配水場だとは知らなかったし、ビル式配水池として日本で最初と聞きびっくりした。私は日本海タワーの回転式展望台は気分が悪くなるので、ちょっと困った。回転する必要性があるのか？

新潟地震からもうすぐ50年になるが、その頃に布設された配水管が今も残っているというが、安全性や災害時を考えたらず早く災害に強く安全なものにかえてほしい。災害時の給水車配置先や飲み水の確保方法など、よく分らない市

民にもっと知らせてほしい。

7月18日のモニター委嘱式から全4回の研修会を無事終えた。

「水道事業の概要説明」、「信濃川浄水場」、「水質管理センター」、それと今日の「日本海タワー」と、施設の見学と併せての研修会。何とか都合を付けて、全ての予定を消化することが出来た。

水道が我々の口に入るまでの仕組み、その過程で安心・安全・安定供給に水道局職員の方々が、いかに心を砕いているかがよく理解できた。

今日のメニューである「日本海タワー」幸い好天に恵まれ、白く光る飯豊連峰、佐渡の大佐渡・小佐渡、岸辺に打ち寄せる日本海の白波が望め、しかもおいしいコーヒーのサービスに感激だった。まさに、このモニター研修会を総括してくれているような「すっきり、くっきり、さわやか」な展望が象徴的に映った。

本局に帰ってからの「水道料金の考え方」「水道局の地震の対策」「モニターからの意見・質問（意見交換会）」も大変実のある内容だった。

「水道事業の財務、料金体系のありよう」では健全経営を心して実行され、その結果として新潟市の水道料金がほかの都市と比較して非常に安い位置にあることを評価します。

新潟の「水道事業の耐震性」が比類の無い大変先進的であることを初めて学んだ。その後、モニターからの質問に各部門から回答があった。

そして、それぞれの部門で企業努力されておられることが良く伝わってきた。質問の最後で世界の水メジャーが世界を牛耳っていることに触れ、日本の水技術は世界最高レベルとのこと。海外で施設を作るだけでなく、運営面でのノウハウの輸出を新潟市でもやられたら良いのでは。例えば新潟市の国際友好都市と手を結んで、水道事業全般を請け負う、こんな日が来ると楽しいですね。

一つ心残りなことがある。水の安心、全体を通してよく理解できたつもりではあるが、肝心の水質管理センターでの見学が廊下から室内を覗き、「こんな検査が行われています」だけ。

例えば、当日サンプリングした川の水から順を追って行く過程の中で、目の前できれいで安心な水に変化してゆく様を直接目にする方法が無いものでしょうか。そして最後に全員が目の前で処理された安心な水を飲む。

加えていろんな水質検査と一緒にやってみる、こんなことができると一般の市民の更なる大きな安心を得る事ができると思う。是非21年度のモニターの方々に提示できるよう検討してほしい。

安心・安全がこれからの大きな課題と思う。

市民の一人一人に納得してもらい、孫の時代に私らの世代がmaid 負の遺産を残すわけにはいかない。市民全員と一緒に手を携えて立ち向かわなければならない時と考える。今回、水を勉強した事が、大いに役立つと思う。是非、新潟の水技術で世界に羽ばたいてほしい。スタッフの皆様の益々の活躍を祈る。

南山配水場は主に新潟島に給水しているとの事、青山浄水場からポンプアップして南山配水場から高さを利用して各家庭、工場、商店などへ給水して、安定的に供給しているとの事。私の住む旧新津市も秋葉山にタンクが有り、約60~80mの高さからの水圧で、各家へ給水している。また、家の近所にはポンプ場が有る。日本海タワーは今回で5回目だった。コーヒーを飲みながらゆっくり回転しながら、遠くは佐渡も見えて最高だった。今度佐渡にいる孫を連れて来たいと思う。

意見交換会では水道水の給水原価、行革プラン、災害が起こった時の復旧の手順など、説明が有り大変勉強になった。

モニターになって水に感謝する心が一段と高まって来たと思はれている。機会があったら、5年~10年後にもう一回モニターに応募したいと思っている。

☆ 先日NHKで平成シゴト図鑑という番組で、ある地方都市の、最高の水を！水道局職員の方が、いろいろがんばっている様子が分かった。見て良かった。

今日の水道モニターに参加して、日本海タワーが配水場だということを初めて知り驚いた。確か小学校の遠足か何かで来たことはあるが、展望台としてのイメージしかなく、このモニターで配水場としての役割があることを知った。

子供と来ても喜びそうだし、勉強にもなりそうなので、また行きたいと思っています。

このモニターに参加して、今まで知らなかった水道事業のことを知り、とても勉強になった。今まで意識して使っていなかった水道だが、モニターでいろいろな仕組みを知り、水道について理解と関心が深まりとても有意義な時間が持てた。家族や友人にもモニターで知ったことを伝えていこうと思っている。

1. 毎回モニターの質問、意見に丁寧に答えていただき、プリントで内容を分かり易く解いてもらい、勉強になった。また、局の誠意も感じられよかった。少々残念だったのは、意見の時間がとれなかったことである。
2. 水道局は企業で独立採算制とのこと、この予算・決算の審査は誰が、行っているのか教えてほしい。315億(H20 予算)もの大金をどんな方法で決めて動かしているのか。水道局の審議委員会でもあるのか。起債低利借換と利子で63億もありましたが少なくする方法はないのか。
3. 水道料金、メーターの口径による差の大きさに驚いた。一般家庭ではこの差を少なく出来ないのか。
4. 水量料金、多く使う程高くなっているのも一般的な商品と逆の様だが……。公衆浴場のあまりの安さ(1/5です。)に驚いた。
5. 新潟地震の経験者で、水だけは代替がなく困った。今は「愛の手」が多くさしのべられ、よい時代になった。給水車はいつ行っても水がもらえる様にしてほしい。各市町村の給水車の前にならび、少しもらって(入れものが

なく) いました。いつ給水車が来るか分らず、水を確保するために勤務につけなかったことを思い出す。

6. モニターの謝礼についてですが、細かい事の様ですが、3回と4回出席した人が同額は少々変でないか。来年はこの様なことがない様にしてほしい。(バス代だけでも一回740円もかかりました。)
7. 日本海タワー、とてもよい所でもう少し活用方法を考えたらと思った。展望台の階段のところの展示物はあぶないし、見れませんで、平らなところに貼ってほしい。
8. モニターの意見で参考になったこと、来年度(再来年度も可)活用してみたいこと等ありましたら、たよりに書いてもらえるとモニターをやったかいいがある。いかがか。
9. 東京都にいる知人が水道局の所長をしている。その人の名刺には水道局〇〇営業所長となっていた。分りやすくよいと思う。新潟でもどうか?

全回参加したので、水道局の全般について知識を得ることが出来、とても勉強になった。

水先案内にも興味が出てきて読むように変わった。これからも、より水道について関心を持って生活してゆきたいと思う。

施設見学や研修会に参加して、新潟の水は、厳しい管理、検査の下で安心して飲める水であることが分かりました。

これからも私達市民のために安全で安心な美味しい水を提供して下さい。

そして、こちら側も、水を汚さないよう努力し、知識を得て、災害への備えを心掛けたいと思う。

他のモニターの方々の水道水やそれに関する知識や興味、それに回答していただく職員の方々の水道水に関する広い知識、誠実な対応に水道局への印象がとて良くなるとともに、とても勉強しました。水道水への不安がかなり軽減されたこと。蛇口から水道水が出てくるまでの水の道のりをイメージ出来るようになり、ちょっぴり愛情のようなものまで生まれた。

全回参加出来てよかったと思う。最終回会議での資料で、借入れの利息が、低利になったのは最近であることが気になった。借換はもっと早く出来なかったのか。(超低金利期間はもうずいぶん続いているので)。借入れも、家のローンのようには単純ではないと思うが。水道料金が他の市に比べるとずいぶん安いようなのでOKなのかもしれませんね。また、私の周りでは(旧巻で)、かなり水道料金が安いと聞いていたので、新潟市に合併されたのがよかったのか、デマだったのか、とにかく、料金が安いということで、主婦としては気分良く水道を使っている。

モニター制度が始まったばかりということで、時間が足りなくなる場面もあり途中で帰る方がいて残念だったが、とてもいい制度だとモニターをやって感

じた。長く続けていくと、一消費者として、より安心していけると思う。

最後に日本海タワーの展望室とコーヒーがとてもよかった。タワーは昔から気にはなっていたが、何だかよく知らず、あんな素敵な空間だとは知らずにいたのがもったいない気がした。

発言もせず、お役に立てなかったことと思いますが、いち主婦として、今回得た知識をそれなりに周りに伝えていきたいと思う。

○水道料金の財政について詳しく説明を受けた。料金表への配賦については実際に配布される一般家庭、営業用の料金表に基づき説明を受けると尚わかりやすく理解することができると思うが、あまりにも抽象的だったように思った。

○水道局は（不勉強ですが、非課税団体？）大きな固定資産を持っているが、固定資産税はどうなっているのか？

○新潟県は川が沢山あり、水が豊富である。断水は考えたこともなく、規制にもあったことがない。しかし水が干上がっている国もニュースで目にする事がある。水は大切にしたいものです。大切に使用するPRをもっともっと宣伝しても良いのでは。

○日本海タワーでの見学は有意義な時間だった。一杯のコーヒーでしたが、コミュニケーションを持つことができたような気持ちになった。

○意見交換会も大切で、もっと時間があつた方が良いと感じた。